

2 個別事業評価調書

団体名 :与謝野町

事業名	農業の観光産業化事業（ひまわり15万本）				
事業の概要	景観作物であるひまわりを栽培して関連イベントを開催し、京阪神方面等から広く誘客を図ることで町の活性化に資するものである。2月に実行委員会を組織し、8月上旬にはイベント(9日間程度)を開催、町内の観光関連施設との連携を図り、町の知名度アップのための観光PR、農産物、特産品等の直売・販路開拓事業等を行うものである。				
	目標時期	平成17年度			
	総事業費	3,807	本年度事業費	3,807	交付金交付額
事業の必要性	国が進める「一地域一観光」の観光立国に向けての取組みにおいて、旧野田川町では観光資源に乏しく観光客の誘致は困難であったが、平成12年から取り組んでいる「ひまわりイベント」が京阪神方面の観光客から徐々に認知されてきており、今後においても当町の観光施策（誘客事業）の柱として継続していくべきものである。				
事業の有効性	「ひまわり」関連イベントを開催し、京阪神方面等から広く誘客を図ることで、町内農業者・商業者と観光客との交流を促進し、農業体験等も併せて実施する等、観光産業振興ビジョンに沿った観光事業・施策を実施することにより、町内の商工振興、町の活性化に資するものである。				
事業の効率性	景観作物の栽培は農家団体が、イベントの運営は行政や観光団体が組織する実行委員会が分担してあっており、事前のPR告知、情報発信なども短期間に効率的・効果的な方法を常に模索しながら、春から夏までの短期間により効率性の高い事業内容となっているものと判断される。				
具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果 丹後広域観光キャンペーン協議会（事務局：京都府）の中京圏、京阪神方面への観光PR活動において当該イベントも併せてPRしていただき、他イベントとの有機的な連携による更なる入込客数の増加につながるものと思料する。				
	2 住民の自治意識を高める成果 観光地としての住民の意識が皆無に等しかった当町でも、平成13年には観光振興会が設立され、ひまわり15万本イベントを町民一つになって盛り上げようとする動きが芽生えており、当イベントを通じて、町民相互の交流が活性化、また自治意識の高揚が図れているものと思料する。				
	3 リーディング・モデル成果 休耕田を活用して景観作物を栽培し花畑にすることによって、農業観光振興と同時に、他地域との交流人口の増加を推進している。				
	4 広域的波及成果 当イベントが丹後の夏の新しい風物詩として徐々に認知されてきており、同時に町内の観光関連施設との連携を図ることにより、町内の観光振興に大いに貢献しているものと思料している。また、当町の知名度向上のための観光PRや、コシヒカリ等の農産物およびちりめん製品を始めとする工芸品等の観光客への直売による販路開拓事業により、丹後圏域の観光・商業振興へ資する効果も現れている。				
	5 行財政改革に資する成果 町をあげてのイベントでもあり、駐車場係等を職員交代で行うことにより委託経費等を削減し、最小のコストで最大の効果を上げている。				
	6 その他の成果				

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。